

経営比較分析表（令和4年度決算）

千葉県 成田市

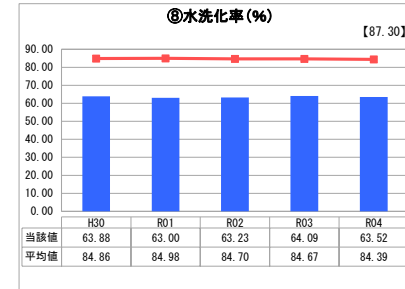
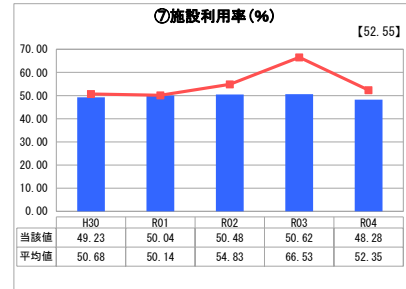
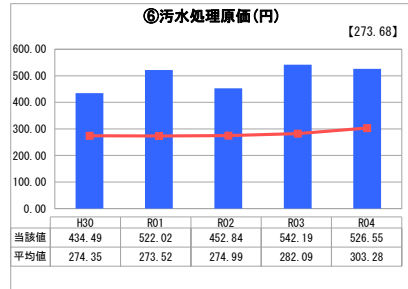
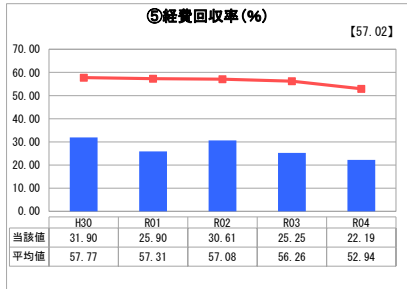
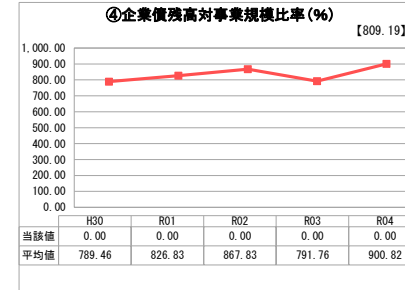
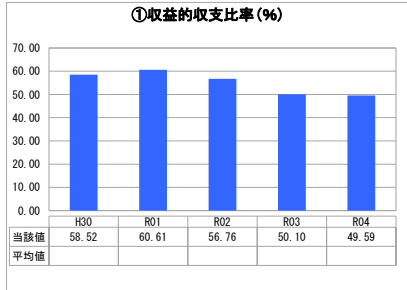
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	1.95	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
130,944	213.84	612.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,552	1.72	1,483.72

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

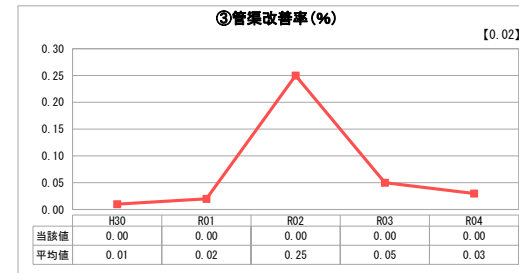
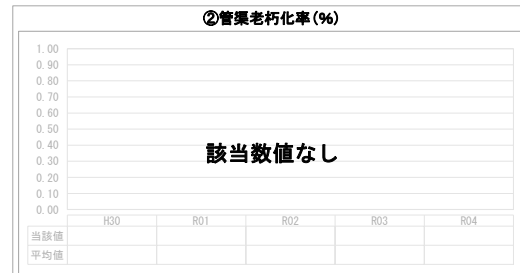
1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度末現在、収益的収支比率について、ほぼ横ばいである。これは、資本的収支である地方債償還金が残っていることがあげられる。経費回収率については、低い数値で推移している。維持管理費が毎年度高額となっているため、一般会計からの繰入金に依存する割合が非常に大きいことがあげられる。施設利用率について、例年と同水準である。水洗化率については、大きな変化は見られず、区域の拡大や管路延長の延伸も見込まれないため、今後、大きく増加することはないと思われる。

2. 老朽化の状況について

令和4年度末時点では、管渠更新等は実施していないが、老朽化が進行しているため、今後更新が必要となる。また、管路以外の施設（処理場・MP）についても経年劣化により突発的な修繕等が生じ、維持管理費が増加する傾向にある。機能診断・最適整備構想をもとに、順次各処理場の事業計画の作成を行い、県の採択審査を経た後に実施設計及び工事を行う予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の経年劣化が進行しており、維持管理費の増加が見込まれるため、経費軽減の方策を検討してまいりたい。具体的には、令和3年度から令和5年度までの3年間で公営企業会計への移行準備期間として、令和6年4月1日より法適用を行うことで、経営状況（損益情報、ストック情報）の的確な把握が可能となり、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等に取り組んでいく予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。